

## 第9回チヌ釣りトーナメント大会 優勝 和歌山県釣連盟 山口 和幸



### ぐれ塾・糸伝会 山口 和幸

2026 年 4 月 12 日、日本釣連盟連絡協議会のチヌ釣りトーナメント大会が和歌山県目良の沖磯で開催された。

私は前年の和歌山県釣連盟の予選を勝ち抜き決勝大会へと駒を進めた。

当日は各県の代表が 22 名集まりトーナメント形式で大会が行われた。チヌ 10 匹の総重量対決で時間は各組の人数で均等に割られた。



1 回戦は包丁の裏という磯での試合でした。

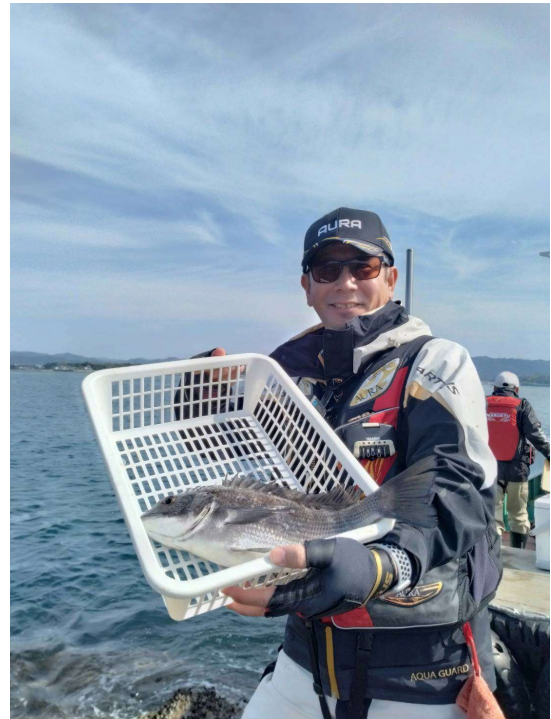
2 名枠でしたので 90 分ハーフでの試合でした。

この磯は和歌山予選を通過した磯でした

の釣れる気満々で挑みました。

冲向いて右から入り開始 5 投目ぐらいで最初の 1 匹が釣れてくれましたがその後は全く音沙汰なしで終了。

結果 1 対 0 で何とか勝ち上がりでした。



2 回戦は沖西いう磯で 3 名対決でした。60 分交代での試合。

私は冲向いて真ん中からスタート。ここでは 1 投目からグレが釣れてきたが殆どエサが取られない。

1 回戦でも 1 匹の釣果であまりよくないようだ。

右のポイントでもグレが釣れたがチヌは来ない。

そのうち西からの風がかなり強く吹いてきた。

最後の左のポイントは少しエサが取られるが風でうまくマキエとサシエが合わない。

何とか仕掛けを工夫して最後の最後でやっとあたりを捉えた。しかし引きがおかしい。上がってきたのはヘダイだった。

結果 3 名とも釣果なし。1 回戦の釣果を含め私の勝ち上がりとなった。



決勝戦は目良の名礁ヤタ、3 名での対決でした。40 分交代での試合。

私は船着き付近からスタート。この時点で西の風 5m~6m ほどは吹いていた。

なるべく風を背中から受けるように釣りを開始。

1 投目から強烈なアタリ。

これは合わせ切れ。おそらくイズスミであろう。

しかし今までの磯とは雰囲気が違う。

餌もバンバン取ってくる。

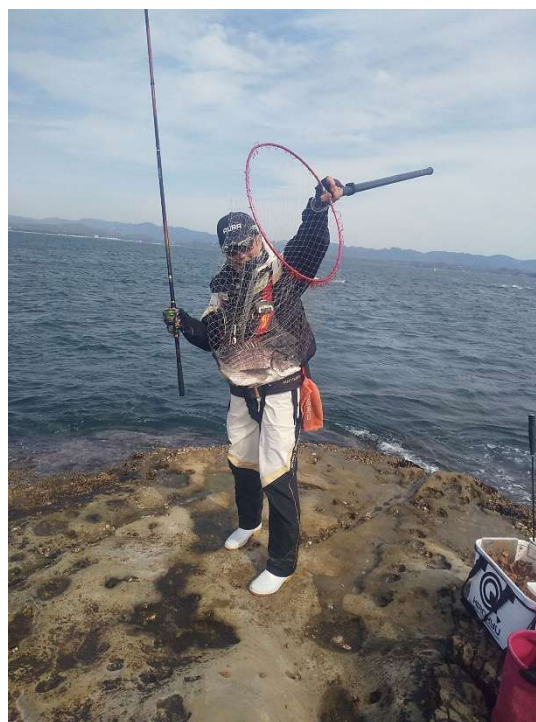
兎に角、魚を何か掛けてやろうとタナを詰め行く。

開始 20 分ごろ少し遠投したウキに良いアタリ。

チヌ独特の首を振る引きが伝わってくる。

中々寄ってこない中、何とか浮かせたのは 50cm を超えるチヌ。

慎重にタモ入れしてゲット。何とか先手を取った。



交代 15 秒前のも強烈なアタリがあったがこれは大型外道で走られまくる。

おそらくブリか真鯛であろうと思われる。場所移動しながらやり取りしたが切られてしまった。

場所交代で本命場に入る。

ここでは後ろからの風で潮も沖に向いて流れるので非常に釣りやすい。

開始からグレの活性が高く、5 連発で喰ってきた。

これではいけないのでサシエをボイルに変え先に仕掛けを遠投。仕掛けが馴染むまで少し時間をおき、後からマキエを打っていく。

これがよかったのかチヌが喰ってきた。

2 ヶ所目でも何とかゲット。

最後のポイントは右からの爆風。

潮は右から左。境界まですぐに仕掛けが流される状態。餌は取らない。

我慢の釣りだが残り 10 分少し潮  
が緩んだタイミングでチヌが来た。



このままタイムアップ。  
3匹のチヌを検量できた。結果優勝する  
ことができた。



ご協力いただいた日釣連役員の皆様、目  
良渡船の船長様ありがとうございました。  
また来年連覇できるよう頑張ります。